

# 学生の「憩いの場」に

## 九工大情報工学部 きょう開所

### 食事、サークル、講演などに活用

31日に開所する九州工業大情報工学部の「ラーニングアゴラ」



英沢学部長は「家に帰ってスマホをするだけでは寂しい。大学に残って憩える場をつくりたかった」と話す。

「アゴラ(市場、広場)」にいろいろな店が出ているイメージで、いろいろな発表やイベントで刺激を与え合おう、新たな学習の場にした」と意気込む。

施設は平屋で約千平方メートル。学生食堂とつながる形で新築した。350人分の椅子とテーブルがあり、インターネット回線とコンセ

九州工業大情報工学部(飯塚市川津)に、学生の集いの場「ラーニングアゴラ」が31日、開所する。同大は、食事やサークル活動、勉強、学会、講演会、市民公開講座など多様な学習と交流の場にしたいと考えた。この施設を発案した延山

ントをいたるところに配置。パワーポイントなどを投影できるスクリーンも複数ある。食堂から料理を持ち込み食事ができる。研究者の学会や講演会を開催し、居合わせた学生が聞くことも想定。「研究の雰囲気を知ってほしい」(延山学部長)という。市民向け科学講座や留学生との懇親会、ロボットサッカーなどの会場にもするという。

利用は午前8時から午後8時半まで。サークル活動や夕食後の懇談もできる。施設は大学の独自予算で2013年度に整備した。

既に、アイデアを出し合い知識を構築する場所「ミラリス」と、アイデアをまとめ知識を統合する場所「ラーニング commons」を設け

ている。同大は「ラーニングアゴラ」を、集大成の「知識の伝達の場」と位置付けている。

(野津原広中)